

市の花「あじさい」

を愛でる



会場を湧かせたまとび学園太鼓

色とりどりのあじさいが咲き誇る「翠雲公園」
(合川地区・三木田)



合川地区三木田・翠雲公園では
合川あじさいまつり

9種類2500株、色とりどりのあじさいが訪れる人を圧倒

三木田地区にある翠雲公園で7月23日(日)、合川あじさいまつりが開催され、市内外から訪れたたくさんの方が、見頃を迎えた9種類約2千5百株の色鮮やかなあじさいと、歌謡&マジックショーや流しそらめなどのイベントを楽しみました。

開会式では、北林久則北秋田市観光協会合川支部長が「あじさいが市の花に選ばれ、あじさい公園とも呼ばれる翠雲公園が注目されている中、あじさいまつりを開催できることをうれしく思います。満開のあじさいと共に、あじさいまつりを盛り上げましょう」などとあいさつ。

今年も、まつりイベントは盛りだくさん。特に子どもたちはサイコロゲームやウルトラマナーゲームで大盛り上がり。お昼は台の長さ70mの流しそらめんが大人気でした。

毎年見事なバチ裁きを見せてくれるのは「まとび学園太鼓」。今年はソーラン節も披露してくれました。歌謡&マジックショーでは、魅力



子どもたちもゲームなどで大盛り上がり

的な歌声の女性歌手やマジシャンが多彩な芸を披露し会場を湧かせてくれました。

合川高校フェンシング部による同競技のデモンストレーションも

また、来年合川地区を会場にして行われる「秋田わか杉国体」のフェンシング競技のPRが行われ、合川高校フェンシング部のデモンストレーションでは、激しい剣の動きに歓声が上がっていました。

今年のみまつりでは、新企画「あじさいフォトコンテスト」であじさいの写真が募集され、審査の結果、次の作品が入選されましたのでご紹介いたします。グランプリの写真は、同公園のポスターに採用されます。

▼グランプリ 石郷岡 富勇さん(秋田市保戸野) ▼準グランプリ 福岡 雅子さん(北秋田市三里)



鷹巣地区・中央公園では

「あじさいの丘交流会」

昭和59年から植栽を続け、およそ1千株にまで増えた中央公園のあじさい

また、中央公園(旧名称:鷹巣中央公園)では、季節になると、およそ1千株が姿の美しい松で知られる「浮島」周辺の丘を鮮やかに彩り

ます。7月28日(金)、鷹巣町婦人団体連絡協議会(中嶋喜代会長)主催による「あじさいの丘交流会」が現地で行われ、会員ら約150人が花を鑑賞しながら、歌の歌唱や語りいで交流を深めました。

中央公園のあじさいは昭和59年、同協議会が結成5周年を記念して植栽を始めたもの。春のサクラ、初夏のツツジと合わせ、同公園を一年を通じて花で飾りたいとの目的で、節目の年ご

とに植栽が続けられてきました。結成25周年を迎えた平成16年には350株が植えられ、現在の規模にまで大きくなっています。

交流会でははじめに中嶋会長が「昭和59年以来、サクラやツツジと並ぶ公園の代表的な花として植栽を続け、これまでにあった。これも、ボランティアとして協力していただいた関係者のみなさんのおかげ。今後も市民に親しまれるよう手入れを続けて行きたい」とあいさつ。

あじさいの花への思いを込めた「あじさい讃歌(婦人会員の作詞・作曲)」を合唱

このあと、昨年会員の手で作られた「あじさい讃歌」などの唱歌を合唱し、あじさいへの思いを歌で伝えていました。この歌は、会員の成田知枝さん(秋田県現代詩人協会会員)が作詞、同じく会員の斎藤禮子さん(元音楽教諭)が作曲したもので、あじさいへの思いが季節感豊かに表現されています。

市内には、翠雲公園、中央公園のほか、北欧の杜公園、阿仁・しょうぶ園など見事なあじさいが鑑賞できる場所が点在しています。花の時期はいずれも今月下旬まで。しっとりとしたおおぶりの花は、夏の暑さを忘れさせてくれます。

【市の花・あじさい】

今年3月、市の鳥(クマガイ)・木(ぶな)とともに市民からの応募の中から選ばれました。選定理由は、「市内の至る場所に植栽されていて、誰からも親しまれている花。花の色の日々の変化に、今後の市の発展を重ね合わせた」とされています。



周囲の樹木や湖面とのコントラストが鮮やかな中央公園(旧鷹巣中央公園)



▲あじさいは、姿の良い松で知られる「浮島から続く入り江の周囲に植栽されています。晴れた日には空と湖面とのコントラストが鮮やかです



▲交流会に参加した会員らがあじさいの花への思いを込めて「あじさい讃歌(成田知枝作詞・斎藤禮子作曲)」を合唱しました